

## 患者様へ臨床研究のおしらせ

### 臨床研究「ヒト造血器疾患における免疫担当細胞の解析」

琉球大学と大阪大学は共同で、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、成人 T 細胞白血病・リンパ腫(ATL)に関する臨床研究で得られたバンキング検体を用いて行われます。臨床研究に関する倫理指針に従い、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記「問い合わせ先」へご紹介ください。

#### 〈研究目的〉

造血器疾患においては、免疫療法が奏効する場合があることから病態に免疫が密接に関与していることが伺われます。造血器悪性腫瘍に対する抗体療法やチロシンキナーゼ阻害剤などに代表される新規治療薬の出現により治療成績は向上していますが、再発例が認められその機序として免疫学的監視機構からの回避が想定されていますが、そのメカニズムは十分に解明されていません。

よりよい治療法の開発を目指し、ATL を含むヒト造血器疾患における免疫担当細胞の解析を行います。

#### 〈研究対象〉

「高悪性度成人 T 細胞白血病・リンパ腫(ATL)における微小残存病変(MRD)検査法の臨床応用に関する研究」、および「沖縄県における ATL 患者／HTLV-1 キャリア生体試料バンクの構築」に参加同意された患者さんです。

#### 〈研究方法〉

大阪大学血液・腫瘍内科学教室および免疫フロンティアセンターにおいて、造血器疾患の患者さんの末梢血細胞を用いて免疫担当細胞の解析、培養実験による分化・細胞障害活性の評価、PCR 法による発現遺伝子解析、核酸塩基配列の解析および細胞遺伝学的検査による遺伝子変異の有無を調べます。解析結果に応じて検査データ・治療内容・治療経過・年齢・性別を調べる可能性があります。琉球大学からは ATL 患者さんの検体を提供します。

#### 〈個人情報の保護について〉

お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報を利用しません。また、学会発表や学術雑誌へ投稿しますが、個人を特定できる情報は一切含まれません。

〈研究への参加・不参加について〉

本研究は、これまでの臨床研究に参加していただき得られたバンキング検体を使用しますので、新たに加わる侵襲や有害事象はありません。また、新たに診断や治療などの費用負担も発生しません。しかし、ご自身のデータが本研究に利用されることに同意されない場合には、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。同意されなくても、あなたが不利益を受けることはありませんのでご安心下さい。

〈問い合わせ先〉

琉球大学医学部保健学科血液免疫検査学分野 施設研究実施責任者:教授 福島卓也

TEL 098-895-3331 (内線 2652) FAX 098-895-1433